

○プログラム5

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

プログラム5 健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

高齢化が一層進行する中でも、誰もが生涯を通じて健康に暮らせるよう、世代を超え、県民一丸となった健康づくり運動を展開するとともに、県民一人ひとりの生きがいづくりを進めることなどにより、本県の活力を維持します。

併せて、県民が安全で安心に暮らすことができるよう、良質な医療を受けられる地域医療体制の確保や地域における福祉の充実を図るとともに、関係機関との連携を図り、地域住民の力も生かしながら、自然災害を始めとしたさまざまなリスクに対応するための取組みなどを進めます。

(1) 高齢となっても元気に活躍できる社会づくり**1 「うつくしまから太陽へ」 県民健康運動（保健福祉部 健康増進課） 4,486**

健康長寿社会の実現を図るため、各地域のウォーキング大会・マラソン大会等の全体走破距離を太陽めざして積み上げて、運動による健康づくりを進めるとともに、健康に関わる網羅的な県民健康大会を開催するほか、協力事業所等と連携して健康情報の発信やがん検診等の普及啓発を行う。

新2 「健診で健腎」 特定健診・慢性腎臓病対策事業（保健福祉部 健康増進課） 4,193

重篤な慢性腎臓病の症状に至らないようにするため、特定健診の受診率向上等による早期発見と早期治療に結びつける保健指導体制及び医療機関の連携体制を確立する。

新3 ふくしまっ子食育推進ネットワーク事業（教育庁 学校生活健康課） 2,351

学校、保護者、地域食育関係者との食育の推進体制を整備するとともに、食を要とした生活習慣を改善する取組みなどを学校種に応じて展開し、学校、家庭、地域の協働による食育を実施する。

4 高齢者の健康・生きがいづくり事業（保健福祉部 高齢福祉課） 16,647

スポーツや文化の交流を通し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する「うつくしま、ふくしま。健康福祉祭」を開催し、全国健康福祉祭への選手派遣等を行う。

5 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト（文化スポーツ局 生涯学習課） 12,219

第20回全国生涯学習フェスティバルによって構築された人的ネットワークを活用し、「共生・協学」の理念が受け継がれるよう、音楽及び映像文化について学びの場を提供し、人づくり、地域づくりにつなげるとともに、県内の貴重な映像についてデジタルアーカイブ化と映像コンテンツを作成・配信を行い、映像文化の振興を図る。

6 うつくしま文化元気ルネサンス事業（文化スポーツ局 文化振興課） 8,939

県民が文化に親しみ交流できるよう、文化活動を発表、鑑賞する場を年間を通して提供するとともに、文化的な地域資源に光をあて、それを活かした地域活性化を推進することにより、「する・見る・支える」文化の醸成を図り、県民総参加による文化の振興を目指す。

○プログラム5

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

新7 ふくしまの学び環境整備事業（文化スポーツ局 生涯学習課） 11,378

県民の生涯学習活動を支援する情報の効果的な提供を図るため、大学や NPO、民間事業者等の関係者から生涯学習支援人材情報を始めとする情報の収集を行うとともに、全庁的な連携により学習情報を一元的に提供するシステムを構築する。

8 老人クラブ活動等社会活動促進事業（保健福祉部 高齢福祉課） 47,506

高齢者が主体となって、自らの健康づくり・生きがいづくりを進める活動や、地域を豊かにするボランティア活動などを行う老人クラブに対し補助を行う市町村に対して補助を行う。

9 シルバー人材センター連合会補助金（商工労働部 雇用労政課） 8,709

県内シルバー人材センターに係る設置促進・普及啓発・広域化を含めた育成指導を行う社団法人福島県シルバー人材センター連合会に対して運営費の一部を補助するとともに、新規設立及び組織の合併により広域化したシルバー人材センターに対して補助する。

(2) 地域医療の確保**1 会津医療センター（仮称）整備事業（病院局 病院経営改革課） 2,652,140**

県立医科大学の附属病院として会津医療センター（仮称）の建築・設備工事等を実施する。

新2 地域医療再生基金事業（会津・南会津医療圏）（保健福祉部 地域医療課） 1,012,203

会津・南会津医療圏における医療課題を解決するため、地域医療機関の連携、救急医療体制及び周産期医療体制の充実を図る事業等を実施する。【地域医療連携ネットワークシステム導入事業：中核病院、へき地診療所等において患者情報等を共通で閲覧できるようネットワークシステムを構築するために要する経費を補助する。（400,027 千円）】

3 地域医療再生基金事業（相双医療圏）（保健福祉部 地域医療課） 765,615

相双医療圏における医療課題を解決するため、医師の確保を図るとともに、大野病院と双葉厚生病院の統合などを通じた救急医療体制の構築、在宅医療の充実強化などの事業を実施する。【双葉地域救急センター等整備事業：救急関連機器及び多目的医療用ヘリの運航等に対し補助する。（381,969 千円）】

新4 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業（保健福祉部 健康増進課、感染・看護室） 1,421,420

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を促進するため、当該予防接種を実施する市町村に助成を行う。

新5 在宅ケア推進事業（保健福祉部 感染・看護室） 6,340

質の高い在宅ケアを受けることができるようにするため、がん患者や在宅療養者への専門的な看護に関する研修や訪問看護人材を育成する講習を実施する。

新6 医師臨床研修対策事業（保健福祉部 地域医療課） 15,966

県内での臨床研修医の確保を図るため、医学生への説明会の開催と臨床研修指導医研修、県立医科大学を中心とした臨床研修病院群による合同研修などを行う。

○プログラム5

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

新7 医師派遣事業等（医科大学運営費交付金・地域医療再生基金事業） 744,410
（総務部 公立大学法人室、保健福祉部 地域医療課）

地域医療の充実と、医師の県内定着を図るため、県立医科大学に助手を配置し、相双医療圏の中核病院等をはじめ支援要請のあった県内の医療機関へ非常勤による派遣を行う。

8 医師確保緊急対策事業（保健福祉部 地域医療課） 21,305

県内における医師不足が深刻化していることから、民間病院を加えた医師派遣体制の確保、自治医科大学義務年限修了者への研修研究資金貸与による県内定着の促進、産科、小児科等の医師の転入促進、産科医の負担軽減のための助産師研修などの医師確保の緊急対策を行う。

9 特定診療科医師確保・支援事業（保健福祉部 地域医療課） 172,804

医師不足が顕著な救急、産科、新生児科の医師の処遇を改善するとともに、病診連携により産科、小児科の勤務医の負担を軽減する。

10 精神科救急医療システム整備事業（精神科救急情報センター事業） 5,961
（保健福祉部 障がい福祉課）

緊急に治療を必要とする精神障がい者やその家族、消防、警察、一般の医療機関などからの精神科救急医療に関する相談に対応するため、精神科救急情報センターを設置する。

(3) 地域の力による安全と安心の確保

1 地上デジタル放送共聴施設整備支援事業（企画調整部 情報政策課） 20,000

地上デジタル放送への移行に伴い、災害情報など必要な情報を得られるように、受信環境を整備するため共聴施設の新設や既存施設の改修に要する経費の一部を助成する市町村へ補助する。

新2 高齢者見守り等ネットワークづくり支援事業（保健福祉部 社会福祉課、高齢福祉課） 481,445

地域社会との関係が希薄になる「無縁社会」に対応するため、地域福祉推進員等の人材育成・活動支援や、災害時要援護者避難支援事業を実施するとともに、市町村やNPO等の協働による高齢者等の日常的な支え合い活動の体制づくりに対し、助成を行う。

新3 いのちを守ろう！農作業安全対策推進事業（農林水産部 農業担い手課） 1,819

農作業事故防止を図るため、集落の代表者等を対象とした講座を開催し、地域の事故防止対策の核となるアドバイザーを養成するとともに、トラクターの転倒防止のための警報装置を開発する。

新4 交通事故疑似体験教育事業（警察本部 交通企画課） 2,400

広く県民の交通安全意識の醸成を図るため、事故事例を再現し危険場面の実体験に基づいた「スケアード・ストレイト教育技法」による交通安全教育、車への衝突実験、衝突時のエアバック体験を内容とした体験型教育を実施する。

○プログラム5

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

新5 特定鳥獣広域保護管理・被害対策推進事業 3,544
(生活環境部 自然保護課、農林水産部 循環型農業課)

市町村の圏域を越えた広域的な有害鳥獣の保護管理と鳥獣被害の拡大を防止するため、出没状況や被害情報をGIS（地図情報システム）を用いてデータベース化し情報の共有化等を図ることにより、市町村が行う被害防止対策等を支援する。さらに、県域を越えた広域的な連携体制を構築する。

6 野生鳥獣感染症対応事業（生活環境部 自然保護課） 497

高病原性鳥インフルエンザの野生鳥獣間での感染拡大防止や、人・家きんへの感染予防を図るため、野鳥に関する調査を行う。

7 地域を守る防犯活動活性化事業（生活環境部 生活環境総務課） 319

防犯活動団体が情報を共有し、相互の連携を図りながらより効果的な活動が展開できるよう地域交流会などを開催し支援を行う。

8 安全で安心な県づくり推進事業（安全管理監（知事直轄） 総合安全管理課） 826

「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画」に基づき、県民の自助・共助による自主的な活動を促進する体制を強化し、市町村、地域の活動団体など様々な活動主体と情報の共有化を図るとともに、相互に連携・協力し、安全で安心な県づくりを推進する。

新9 消費者行政体制強化事業（生活環境部 消費生活課） 117,609

年々複雑・多様化、高度化する消費生活相談に的確に対応するため、消費生活センターの機能強化を図るとともに、消費者教育・啓発をさらに強化し、消費者被害の未然防止の徹底を図る。また、消費者行政の機能強化を行う市町村に対する支援を行う。

10 おもいやり駐車場利用制度推進事業（保健福祉部 高齢福祉課） 4,635

車いす利用者用駐車施設を利用できる人に利用証を発行する「おもいやり駐車場利用制度」の更なる周知をすることで駐車施設の適正利用を図り、障がい者、高齢者、妊産婦などが安心して生活・子育てできる環境づくりを進める。

新11 障がい者工賃水準底上げ事業（保健福祉部 障がい福祉課） 17,569

障がい者の地域における自立した生活の実現を図るため、福島県障がい者工賃向上プランに基づく支援策のほか、事業所の意識改革など工賃水準の底上げを図る取組みを実施する。

新12 虐待から子どもを守る総合対策推進事業（保健福祉部 児童家庭課） 79,077

児童虐待の早期発見・早期対応に向けて、関係機関・団体の連携や児童相談所の体制整備を進めるとともに、地域の児童見守り力の強化の支援や虐待防止の教育プログラムの実施により、児童虐待の未然防止を図る。

新13 精神障がい者地域生活移行支援特別対策事業（保健福祉部 障がい福祉課） 42,479

長期間入院している精神障がい者を対象とした自立生活へ向けた支援を行うとともに、地域の受入体制を整備する。また、在宅の障がい者で未受診・未治療・受診中断の者に対して、地域生活継続のための危機介入包括支援を行う。

○プログラム5

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

14 高齢者施設スプリンクラー緊急整備推進事業（保健福祉部 高齢福祉課） 713,025

スプリンクラー設置義務のない施設等の入居者の安全を確保するため、スプリンクラー整備に要する経費に対して補助を行う。

新15 青少年総合相談支援事業（生活環境部 青少年育成室） 8,304

青少年が抱える問題や悩みに適切に対応するため、窓口を設置して相談業務を行うとともに、関係機関が連携して総合的な支援をする。

プログラム5	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	34	8,428,140
その他の事業	38	14,035,844
合計	72	22,463,984